

がんばれ盲腸線



ふちんかん

阪堺電車は、その名の通り大阪市南部の天王寺駅前と恵美須町から堺市の浜寺駅前までを結ぶ鉄道である。正しい社名は阪堺電気軌道である。略すなら阪堺電軌か阪堺電車である（公式HPは阪堺電車と表記）。自動車道路との併用軌道をもつ路面電車としては、大阪府ではここだけである。南海電鉄の子会社であるが、親会社の南海電鉄が狭軌(1067mm)なのに対し、阪堺電軌が広軌(1435mm)なのが面白い。

歴史はけっこう古い。現在の**上町線**（天王寺駅前～住吉）の一部が1900年（明治33年）に馬車鉄道として開業。これに1910年（明治43年）現在の**阪堺線**（恵美須町～浜寺駅前）などが加わり「**阪堺電気軌道**」となった。1915年には南海鉄道と合併したが、1980年に分社化。改めて「**阪堺電気軌道**」となった。

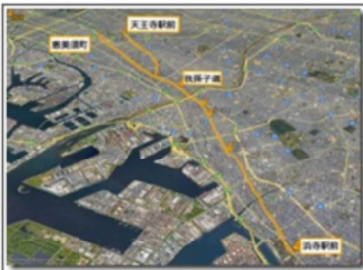
詳しくは本誌1996年6月号「ローカル私鉄1996」の第1回取材の馬場さんの記事を参照ください。ちなみにこの取材は私がおそらくWOOとしても初めてデジカメを用いた取材であった。

さて、阪堺電鉄の古老モ161形に乗車するという取材の前に、一人取材として、阪堺電軌全線乗車&モ161形の走行写真撮影を行ってきた。



第1便 恵美須町から我孫子道へ

まずは阪堺線の始発・恵美須町から。恵美須町駅は以前より南方に移動しており、駅というよりは停留所という名がふさわしいサイズになっていた。



阪堺電軌 路線図



恵美須町駅 我孫子道行き



モ504は昭和32年製

恵美須町から東玉出までは専用軌道、その後、併用軌道になり、住吉へ。東から上町線が合流して、住吉鳥居前へ。

上町線の住吉公園駅への路線は2016年に廃止され、今は駐車場になっていた。以前は上町線と阪堺線が路面で平面交差するという珍しい光景も見られた場所である。

高師浜線&阪堺電車

住吉鳥居前をすぎると再び専用軌道となり我孫子道へ。

第2便 我孫子道から御陵前へ

次に乗るのは、2020年製造の最新型1101形。先ほどの504形が昭和中期製造に対してこちらは令和の製造、実に60年の隔たりである。



我孫子道からは新型車両



車内もおしゃれ感？



このあと走行する昭和3年製のモ161形の撮影地をロケハンする。20年前の経験に加え、今はGoogleMap

やGoogleEarthのおかげで事前にかなりイメージが付きやすい。

今回は、午前中の早い時間なので光線状態のチェックを中心に行った。主題の扱いが小さくなり散漫な写真にはなるが、やはり道路との併用区間（交差点）で撮影したく、御陵前で下車した。待つこと1時間あまり。無事撮影できた。



主力の700形



モ162形



線路脇の植栽がきれい

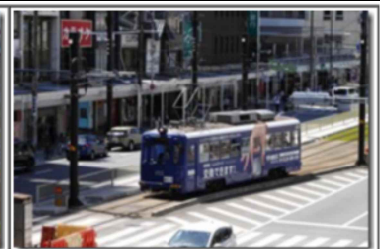
第3便 御陵前から妙国寺前へ…徒歩移動…第4便 綾ノ町から天王寺駅前へ



妙国寺前



綾ノ町



天王寺駅前

天王寺駅前でWOOのスタッフと合流し、先ほど撮影したモ161形に乗車した。

この様子を12分ほどの[動画](#)にしています。よろしければご覧ください。

(おわり)